

# 氷川町 特産品紹介 もち米



もち米収穫貯蔵庫

で第4位の作付けです)

販売先は、九州を始め関西まで行われており、高い評価を受けています。

田植えが6月上旬から7月下旬と長く、稲刈り終了が11月上旬と日本で一番遅くまで行われます。昨年は収穫量も10a当り9・7俵あり、実需者に喜ばれるもち米団地として頑張っています。

10月18日より「ヒヨクモチ」

の収穫が始まりました。今年  
は、天候に恵まれ、種蒔き・  
田植えから順調でした。台風  
の接近はありましたが、被害  
はほとんど無く、生育も良好  
で、品質・量とも期待が持て  
ます。

氷川町のもち米は、平成4  
年の東部地区カントリーエリ  
ベーターの竣工とともに旧竜  
北町全域で始まりました。現  
在、熊本県下で最大の産地と  
なっています。(熊本県は全国



氷川町産もち米で造った焼酎「火の君浪漫」

このもち米は、地元でも焼酎「火の君浪漫」や、「そうめん」「うどん」「あられ」などに加工され、特産品として道の駅「竜北」物産館でも販売されています。

## 表紙の

## ひとこと

「道の駅」竜北ウォーキング2012  
11月4日、大野の竜北公園を出発。  
福岡県など、県内外から参加した約  
300人が、

野津古墳群から立神峡の吊り橋を  
回る15・3キロコースと野津古墳  
群のみを回る6・5キロコースを  
歩き、秋の氷川路を満喫しました。  
参加者にはミカンや町のキャラク  
ター「ひかりん」のストラップな  
どが贈られました。



里山をウォーキング

## 編集後記

今年も早いもので残すところ、あと一ヶ月となって参りました。近年、地球温暖化による影響が分かりませんが、地震・台風・豪雨等の自然災害が頻繁に発生し、それが巨大化して私達の生命・財産を脅かす状況にあり、7月12日の九州北部豪雨災害で、特に阿蘇地方では猛烈な雨に見舞われ土砂災害により流域に甚大な被害をもたらしています。

氷川町も日奈久断層が縦断している地形にあり日頃の自主防災訓練を実践し「備えあれば憂いなし」の教訓を肝に銘じ災害に強い町づくりを推進して参りたいと思います。

今後共、開かれた議会活動を目指すため、来年もなお一層の充実した紙面づくりに努力して参りたいと存じます。最後に町民の皆様のご健康とご活躍を祈念致します。

議会広報調査特別委員会

委員長 永田義昭

副委員長 坂本悦男

委員 三浦賢治

委員 上田俊孝